

【以西地区】地方創生意見交換会（結果）

日時：平成 27 年 6 月 8 日（月） 19：30～21：05

場所：以西地区公民館 1 階研修室

1. 参加者	参加者 11 人、職員 4 人（小松副町長、遠藤企画情報課長、山根、佐藤）
2. 開会	小松副町長（あいさつ） 遠藤課長（資料の説明）
3. 主な意見	<p>●コトウラで育む</p> <ul style="list-style-type: none">・琴浦町の歴史や文化、地域のよさを幼児期から中学生までのうちに子どもたちに伝える取り組みが必要。地域のよさを知らないと、帰ってくる者も来ない。・大人が、この地域が好きでこの暮らしが楽しいという気持ちがあれば、その姿を子どもも見ている。・旧以西小学校を活用したセカンドスクールの実施（1 週間程度）・少年自然の家などと連携して、短期～1 年程度の山村留学を実施。 <p>●コトウラで創る</p> <ul style="list-style-type: none">・仕事がないと帰りたくても帰れない。道路が良くなり県内は通勤圏内なので、県内で働いて琴浦町は暮らしやすい町に。・若者が帰って来たいと思う理由（魅力・特色）をつくる必要がある。・商業でも農業でも、若い人は新しいことを開拓したがる感じがする。もっと儲けることができる経営支援など、やりがいづくりを。・自然の家と連携し、旧以西小学校のグラウンドでサッカー合宿等をしてもらう。少年サッカーチームとかは芝グラウンドの合宿地を探している。合宿の誘致はどうか。人が動けば経済も回る。地域にとっても、外から人が入ってくれば刺激になる。・農事組合法人を作り、農作業に見合った賃金を払っているが、若い人にはいいようだ。給料がもらえる農業システムを広げていく取り組みはどうか。儲かってくると農業も魅力になる。後継者育成にもなる。・農業をする若者のやりがいづくり。 <p>●コトウラで輝く</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりに取り組む団体へ支援をお願いしたい（以西、空き校舎活用とグラウンド芝生化の取り組み） ・大人が琴浦町で暮らして楽しんでいる姿を見せていく。仕事でも、大人が嫌々している姿を見せたら継ごうとは思わない。 ・地域の行事には、帰省者や出身者もいつでも参加してもらえる受け皿は広がっている。 ・「あすの以西を創る会」のような取り組みこそが地方創生につながる活動では。地域が元気になる活動が広がれば。 <p>●コトウラに根づく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き校舎を利用して、高齢者が農産物加工を行う農業福祉施設のようなものを整備（介護予防） ・琴浦町は介護施設が多く、介護保険料も高い。施設に入らなくていいように、介護予防の取り組みも必要。 ・まずは県外に出た子どもが帰ってくる取り組みを。
4. その他	